

目的 私共は茶類浸出液（ウーロン茶，アーアル茶，紅茶，煎茶，番茶）をラットに給与し，血中総コレステロール（Tcho）並びにトリグリセライド（TG）の消長について追究を行ってきた。その結果，Tchoの増加を抑制し，TGにも若干の抑制効果のみられるものがウーロン茶の7銘柄（中国福建省産鉄観音）から見出されたが，供試した他のお茶からは，これら脂質の増加抑制効果は認められなかったことを先に発表した。

今回は，ウーロン茶3種（鉄観音と黄金桂）と宝命茶（日本茶）について，特に長期給与を目的として実験を行った。

方法 実験動物は今までと同様Wistar系ラット（♂）を用い，予備飼育終了時（9週令）に血液（Tcho，TG）及び収縮期血圧を測定し，これを5群に分けて条件負荷飼育に移行し現在38週まで観察を行い続行中である。コレステロール強化飼料（3%含）及び飲水（水道水，各茶の浸出液）は自由摂取である。茶浸出液の調整は，前報と同様4gの茶葉を熱湯600mlで10分間浸出したものを用いた。TchoはOPA法，TGは酵素法にて測定を行った。また，血圧測定はラット自動血圧計（夏目製作所）を用いた。

結果 条件負荷19週におけるTcho増加率は対照時（100%）に比して122～126%であり，TG増加率は135～143%で両者共5群間に差はみられなかった。また，38週のTcho増加率は152～170%で，対照群（159%）に比して群の差が若干みられたが有意差は認めなかった。TGには5群間の差はみられなかった。血圧も各群間に特に認められるものはなかったが，これらについては現在継続実験中である。